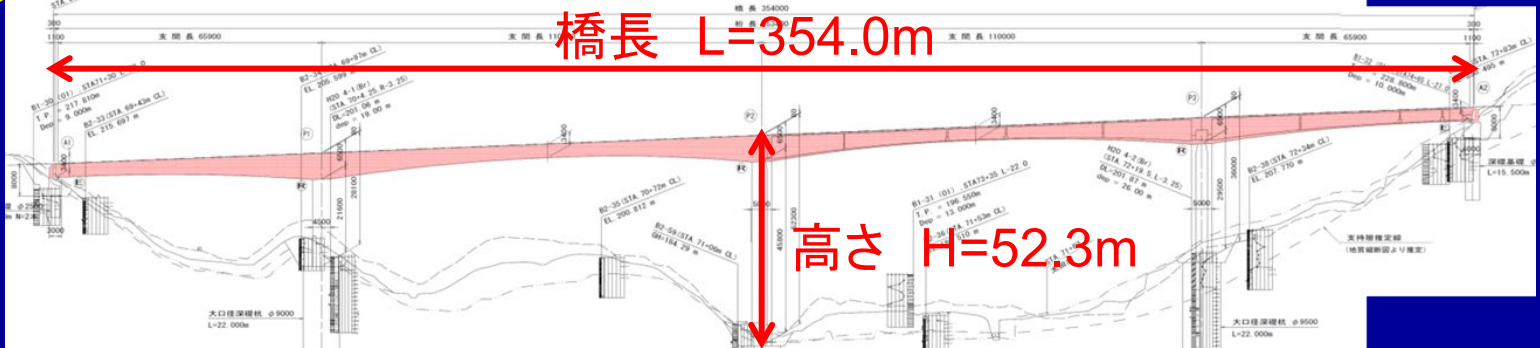


張出施工における 床版型枠上からの墜落防止対策

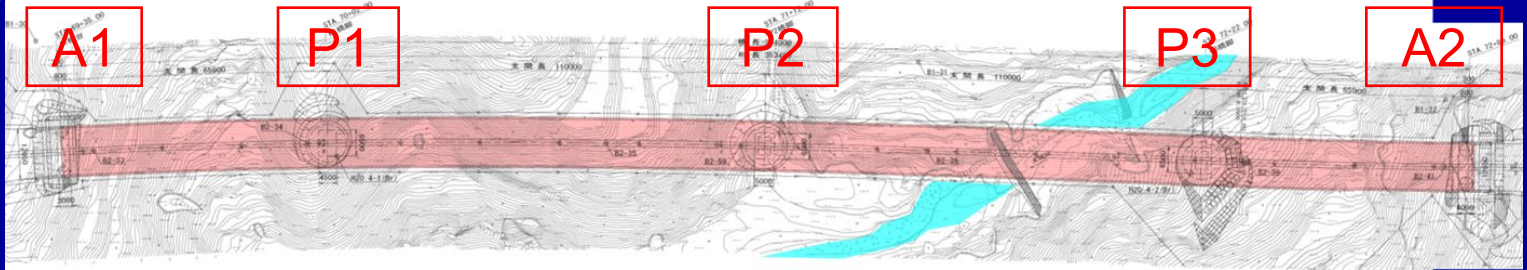
九州真栄会 土木部会
株式会社 安田建設

第6回改善事例発表会

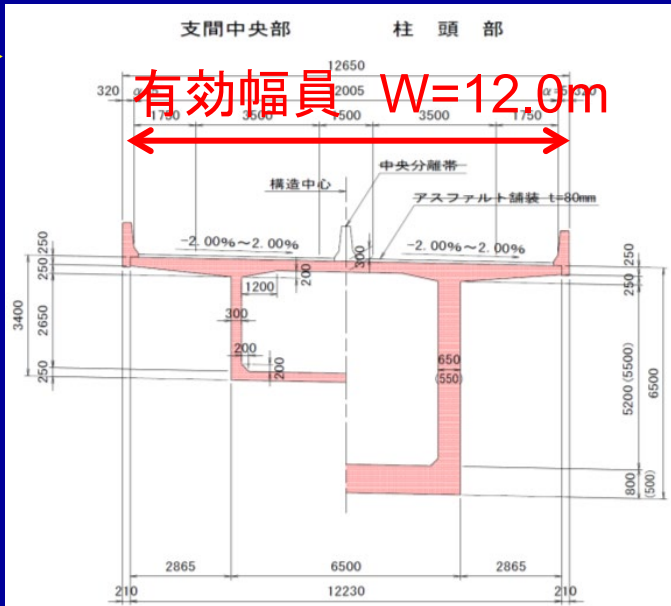
<側面図>



<平面図>

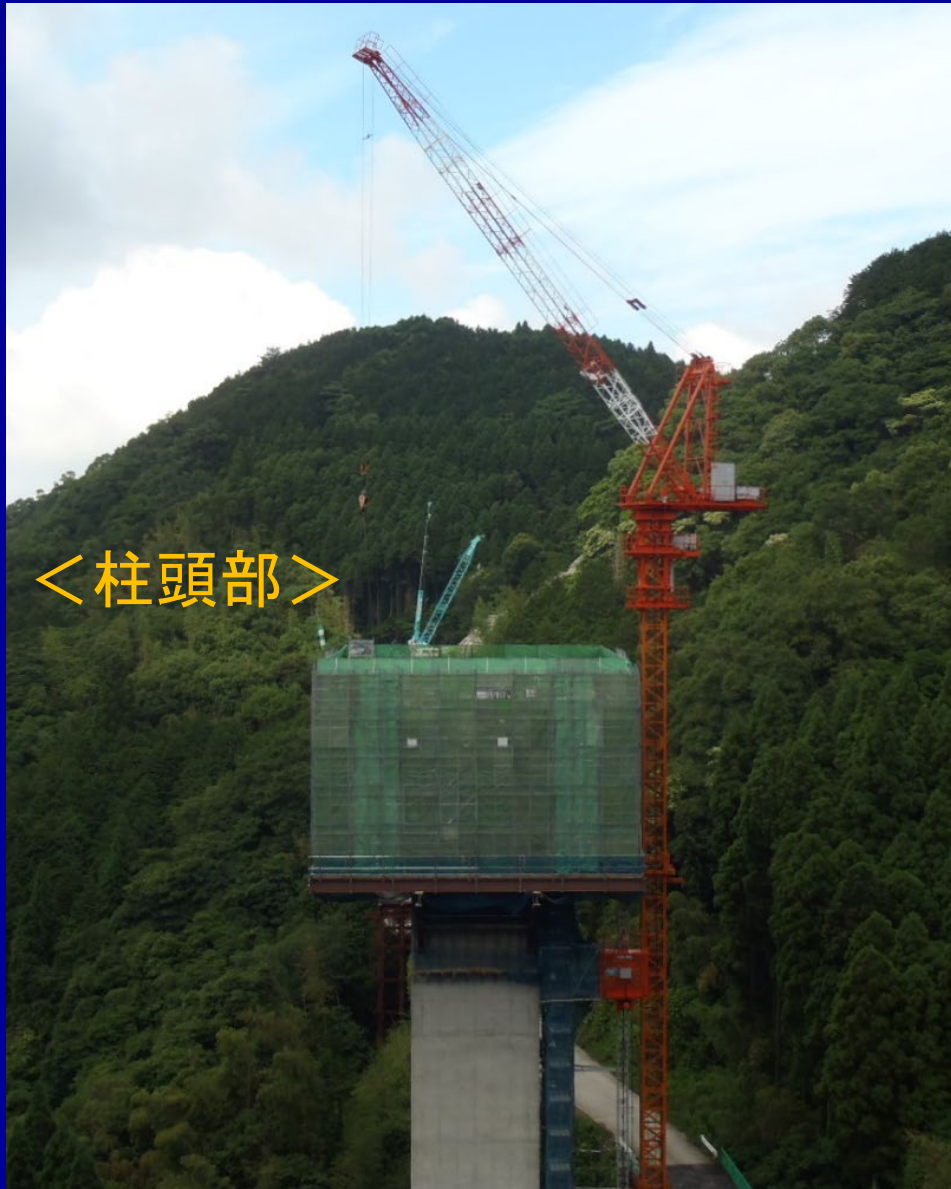


<断面図>



PC4径間連続ラーメン箱桁橋
 施工方法:片持ち張出架設工法
 橋 長: $L=354.0\text{m}$
 支間長: $65.9\text{m}+2\times 110.0\text{m}+65.9\text{m}$
 有効幅員: $W=12.0\text{m}$

現況

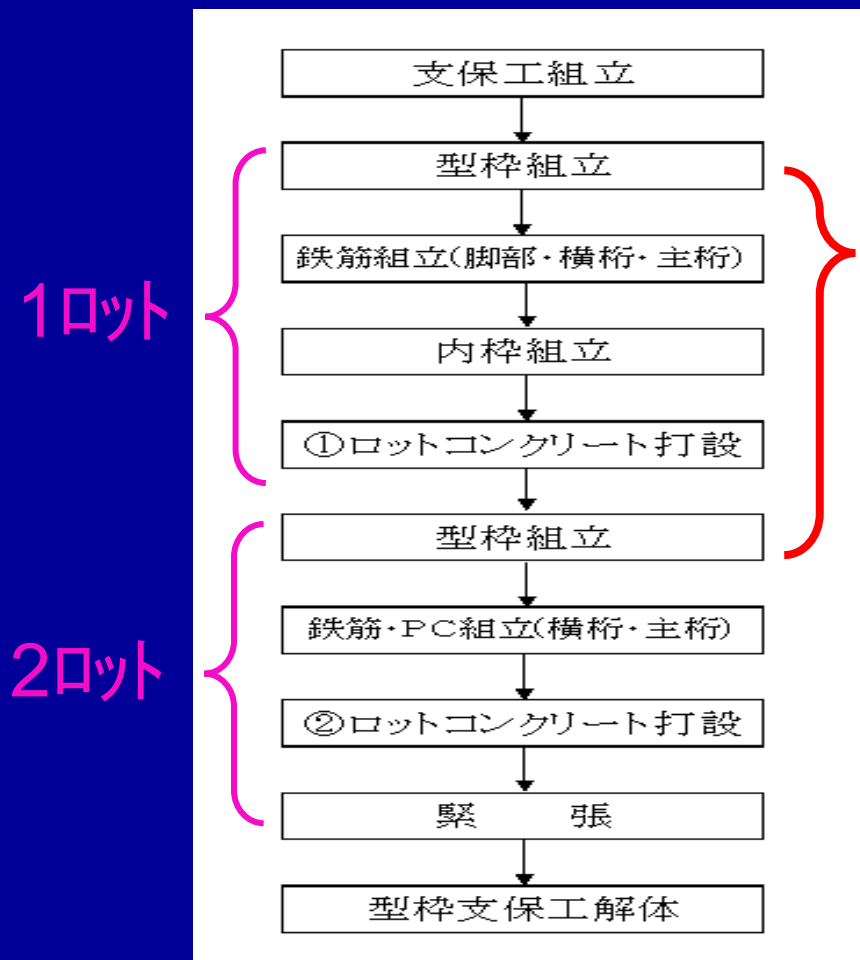


今後、4基のワーゲンを使用して張出施工を行う。

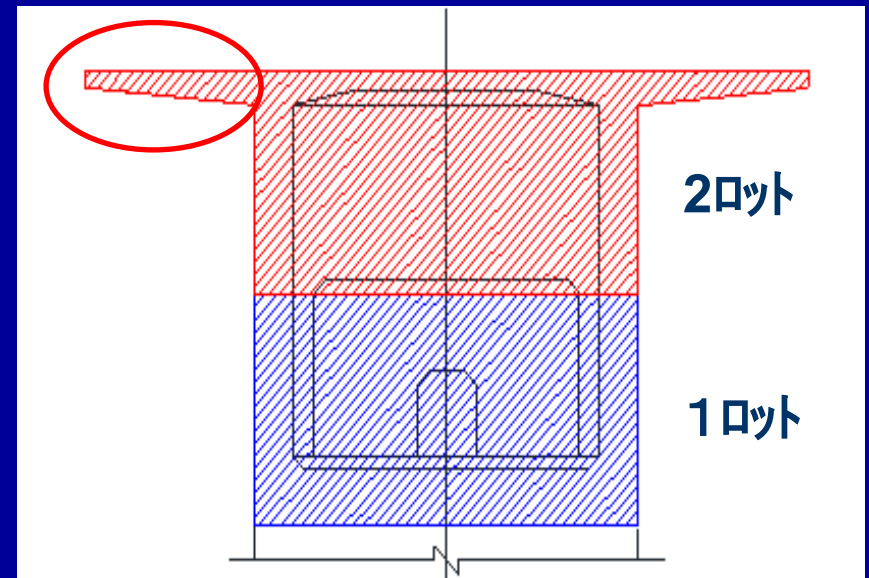
課題

柱頭部施工時、張出床版の型枠組立完了後に型枠上から転倒、滑落、墜落の危険性が高い。

<柱頭部作業工程>



危険度増



親網設置

親網を設置し安全帯を使用するが、通常使用する鋼製型枠、今回使用する透明型枠共に足元が滑り易い。
滑り止め措置(栈木の設置)が容易にできない。



転倒、滑落、墜落

改善提案

張出型枠上での作業における作業員意見

- ・張出型枠から底版までが高いことから、怖いと感じることがある。
- ・安全帯を使用しづらい。
- ・親綱を利用して安全帯を使用していても足元が滑り、勾配もあるので滑落しそうだ。
- ・型枠が透明型枠で滑り易い。
- ・物が転がって主桁内の作業員に当たるかもしれない。

落ちない・落とさない措置をとろう

- ・親綱部材・位置の変更
- ・墜落防止ネットを設置

墜落防止ネットと親綱ワイヤーの設置

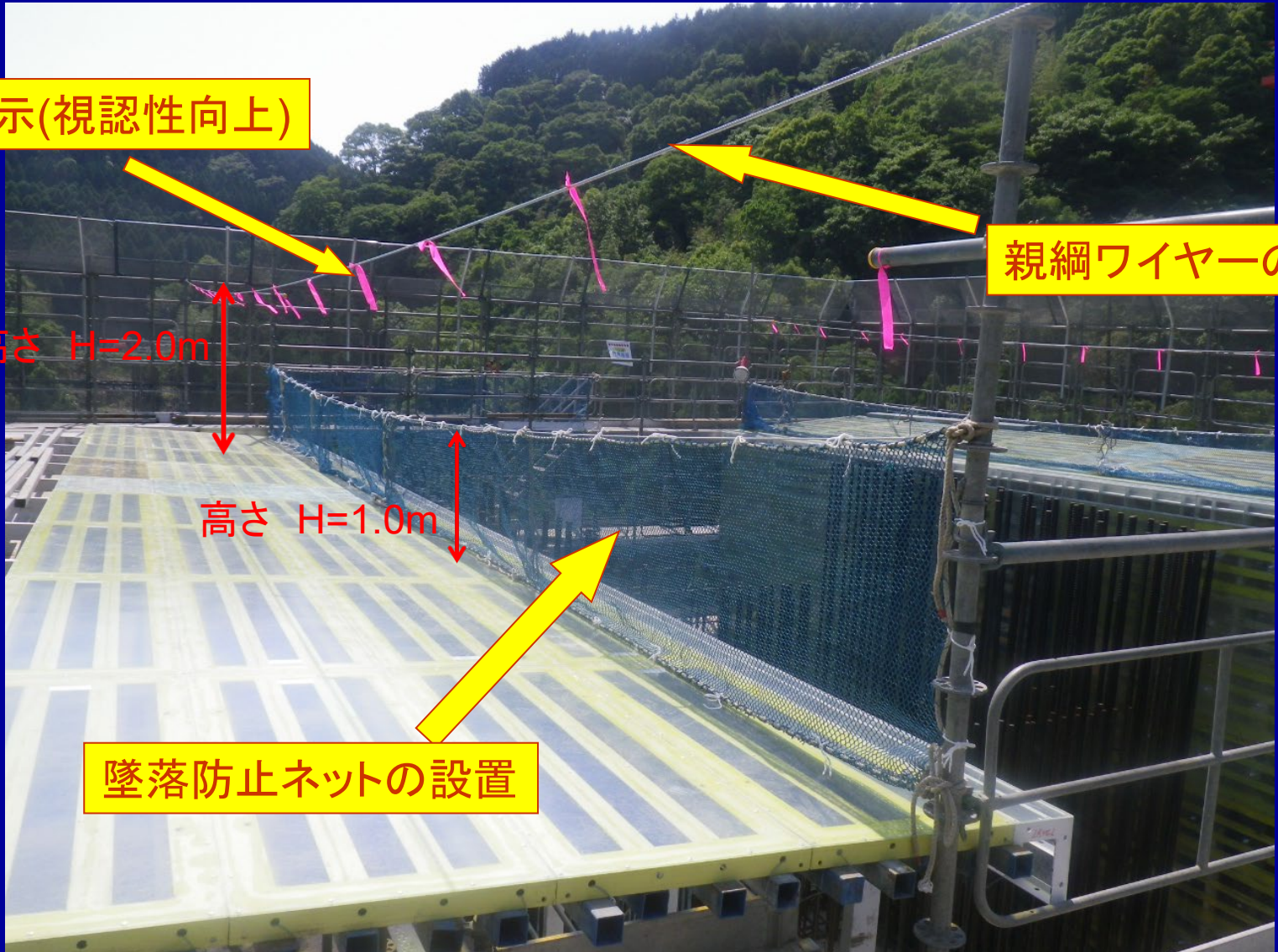
明示(視認性向上)

親綱ワイヤーの設置

高さ H=2.0m

高さ H=1.0m

墜落防止ネットの設置



改善による効果

- ①親綱ワイヤーを高い位置に設置したことにより、型枠上では常に安全帯を使用できるようになった。引っ掛かりを解消し横への移動がスムーズになった。
- ②墜落防止ネットを張ることで、墜落防止効果を向上させ、資材や小物の落下防止にも繋がった。
- ③視認性が良くなり、安全意識の向上につながった。